



からだの神経は、何で、どうやってできているの

神経は、神経細胞できている

神経は、神経細胞できている。

神経細胞は、神経細胞体・樹状突起・神経突起（軸索）で一つの単位で、神経単位または「ニューロン」とよばれ、脳や神経をつくるもとになっている細胞です。

人間の脳には、100～140億のニューロンがあります。

二つの神経 — 脳神経と脊髄神経

脳から出ている神経を脳神経といい、目・耳・鼻などにつながっています。1本のニューロンで、情報は、直接脳に伝わります。

脊髄から出ている神経を脊髄神経といい、手・足など、体じゅうに広がっています。

脊髄のところに、ニューロンとニューロンのつなぎめの「シナプス」があり、情報は、ここでニューロンからニューロンへ、バトンタッチされて伝わります。（監修・保志 宏）

